



2019年2月7日発行

2019年1・2月合併号 (通算220/221号)

東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ

東京YMCA西東京コミュニティーセンター内 〒186-0002東京都国立市東1-4-20-102
TEL 042-577-6181 FAX 042-577-5574

【2018~2019主題】

国際会長 ムン・サン・ボン 「Yes, We Can Change!」
 アジア太平洋地域会長 田中 博之 「Action!」
 東日本区理事 宮内 友弥 「為せば、成る」
 あずさ部長 廣瀬 健 「未来はそれに備える人のものである」
 東京武蔵野多摩会長 山口 直樹 「地域に根差した活動を! 理事と共に・YMCAと共に」

【クラブ役員】

会長 山口直樹
 副会長 大輪匡史
 書記 麻生由美子
 小林文彦
 会計 鈴木 誠

I B C Tsim Sha Tsui Y's Men's Club (香港)、Seoul Han Yang Club (韓国)

D B C 神戸学園都市ワイズメンズクラブ

2019年

1・2月の聖句

「あなたを照らす光は昇り 主の栄光はあなたの上に輝く」
イザヤ書60章1節

ワイズメンズクラブモットー

強い義務感をもとう 義務は全ての権利を伴う

五つの誓い

- 1.自分を愛するように隣人を愛そう
- 1.青少年のためにYMCAに尽くそう
- 1.世界的視野をもって国際親善を図ろう
- 1.義務を果たしてこそ権利が生ずる事を悟ろう
- 1.会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう

ワイズメンズクラブの目的

- 1.個人的にもまたクラブとしても、その奉仕活動を通じてYMCAの活動を支援する
- 2.ワイズメンにふさわしい他の団体を支援する
- 3.地域社会や国際的な問題に関心を持ち、一党一派に偏らない正義を追求する
- 4.宗教・社会・経済・国際などの諸問題について会員達を啓発し、積極的に参加させる
- 5.健全な交友関係を作り出す
- 6.この協会の国際・地域・区の事業を支援する。

2月例会の予定

強調月間：TOF

日時：2月13日(水) 19:00～

場所：東京YMCA西東京センター

司会：板村 受付：渡辺 麻生

ドライバー：野尻 記録：大輪

<プログラム>

- *開会点鐘 (会長)
- * ワイズソング
- *ゲスト・ビジター紹介 (会長)
- *会食
- *卓話【こども茶のすすめ】“茶の湯ってなんだ?” —こども茶を世界へ—
東京多摩みなみ会長 深尾香子さん
- *連絡・報告事項・にこにこ
- *今月のハッピーバースデー
大輪さん
- *閉会点鐘 (会長)

12・1月例会報告

在籍者	12名	12名
出席者	5名	9名
メーキャップ	3名	1名
出席率	66%	83%
ゲスト(リーダー)	-名	-名
ビジター	-名	-名
ネット・コネット	0名	0名
にこにこ	0円	0円

「ジェネリック」

宮内友弥

新年おめでとうございます。
 些か旧聞に属するが、11月開催(我がクラブと西東京Yセンター共催)の「健康増進カフェ」でジェネリック医薬品をテーマに専門家から話をお聞きした。
 その中でジェネリック使用のメリット、デメリットを教えてもらったが、先発医薬品と比較して体への悪影響の可能性の不安を払拭できないものであった。
 私は数年前から訳あって、血液をサラサラにする薬ワーファリンを飲まされている。この薬は、飲み始めると一生飲み続けなければならない。定期的に血液検査をして投薬量が適量かを調べなければならないとか、食べるものの制約があり大好きな納豆が食べられない等々、厄介な薬なのである。
 ところが昨年未医者から「ワーファリンに替わるオーソライズドジェネリック薬(AG)が出ており値段は少し高いが、定期的な血液検査は不要、食べ物の制約なしですがどうされますか」と聞かれた。
 一瞬「健康増進カフェ」を通じての一抹の不安が脳裏をよぎったが、「納豆が食べられますよ」の一言に飛びついて「ジェネリックにします」と返事。与えられた残りの人生、我慢するより食べたいものを食べ、やりたいことをやるのが優先順位一番と自答している。

2・27 YMCAピンクシャツデー 世界的いじめ反対運動

2007年カナダの2人の学生から始まった「いじめ反対運動」今では70か国以上に広がり2月の最終水曜日にピンクシャツをシンボルにいじめ反対の活動が行われています。奇しくも今年は東京武蔵野多摩の第2例会の日。ピンクシャツはちょっと、と言う時は靴下、ネクタイ、ハンカチ、バック、マフラー何でもOK。ピンクを身に着けたメンバー、リーダー、スタッフを見かけたら「いいね!」でサムアップを!!

12月第一例会 報告 (西東京センタークリスマス)

伊佐 節子

開催日：12月9日(日) 13時30分～15時30分
 会場：東京YMCA医療福祉専門学校
 出席：山口、板村、渡辺、野尻、伊佐 (敬称略)

12月の例会は西東京コミュニティーセンターのファミリークリスマスへの参加となりました。西東京センターの会員やリーダー、スタッフ、ワイズが一堂に会してクリスマスを祝う会で、第1部クリスマス礼拝では、国立教会の宮崎 薫 牧師 からクリスマスがどんな日なのか、というお話をいただきました。続いて第2部はクリスマスお楽しみ会。様々な出し物やクリスマスソングなどで、楽しい時間を過ごすことが出来ました。



2018年忘年会

板村 哲也

開催日：2018年12月19日(水) 19:00～22:00
 会場：白木屋(国立南口駅前店)
 出席：麻生、伊佐、板村、大輪、野尻、宮内、山口、渡辺
 ビジタ：久保田、小口、長谷川(以上八王子)、深尾、綿引(以上多摩みなみ)、小原(たんぼぼ)
 小山(憲)(サンライズ) 中里(西東京センター)
 ゲスト：半澤(テンダン) (敬称略)

2018年、ワイズの活動を共にした東京武蔵野多摩のメンバー、他ワイズのメンバー、YMCAスタッフ、そしてワイズ活動に理解をいただきサポートいただいたゲストなど、多くの方に参加いただき盛会となりました。どのテーブルもバラエティに富んだ話題に花が咲き、大いに盛り上がりました。1月からのワイズ年度後半に向け、エネルギー(カロリー)をチャージした夜でした。

1月第一例会 (在京ワイズ合同新年会)

野尻 和子

開催日：2019年1月5日(土) 12時30分～15時30分
 会場：京王プラザホテル八王子「ルクレール」
 参加者：山口 宮内 板村 伊佐 野尻 麻生 大輪 渡辺 小林(敬称略)

1月第一例会として「在京ワイズ合同新年」へ参加しました。在京17クラブに加え、北海道部、関東東部、あずさ部、湘南・沖縄部、富士山部など合計) 25クラブ、総勢141名が参加し盛会となりました。会は恵泉女学園大学の宇野 緑 牧師の礼拝ではじまり、今回担当ワイズとして企画や手配などを進めていただいた、東京多摩みなみワイズ 深尾 香子 会長の歓迎挨拶、東京YMCA 菅谷 淳 総主事、在日本韓国YMCA 朱 宰亨 総務の祝辞と続きました。アトラクションは昔懐かしい、紙芝居せんべいの紙芝居に子どもの頃を思い出しました。食事・懇親会では他クラブのメンバーとの談笑と、新年を迎え年初らしい和やかな雰囲気での会でした。



写真提供：東京多摩みなみワイズメンズクラブ

第7回健康増進カフェ

小林 文彦

開催日 2019年1月19日 14時～16時
 会場 東京YMCA西東京コミュニティーセンター
 参加者 山口 伊佐 麻生 大輪 小林 長谷川(八王子)
 テーマ 延命治療について考える

最近、「延命治療」や「終活」を標榜した新書本や週刊誌特集を見聞する機会が多く、はたしてどんな事が「延命治療」にあたるのかを雑誌記事や厚労省資料などを参考に、国民や医療関係者、介護関係者の認識、取り巻く環境などを紹介。続いて参加メンバーの方々に「延命治療」にまつわる体験や思いなどをフリートーク形式で語っていただきました。肉親や親戚など身近で見守ってきた体験や、介護関係者としての業務としての視点、自分の問題としてどう考えどう行動するのかなど、普段は聞けないような話しや準備の必要性など、考えさせられる話し合いが出来たカフェだったように思われます。

<西東京YMCA便り>

出沼 一弥

▼報告ファミリークリスマス 12月9日(日)
 東京YMCA医療福祉専門学校に、西東京の会員やワイズ、スタッフ約90名が集まりファミリークリスマスを行いました。国立教会の宮崎牧師にクリスマス礼拝のメッセージをもらい、礼拝が終わると「みんなでつくるクリスマス」をテーマに、武蔵野多摩ワイズの「クリスマスソング」、音訳ボランティアのシジュウカラの「本の読み聞かせ」、中高生グループ活動のTeenSの「手品」、それぞれ出し物を披露し、クリスマスの意味を学びながら、みんなで楽しいひとときを持ちました。

▼2月の予定

2019年2月11日(月・祝) ソシアス2018
 東京YMCA東陽町センター 10:00～14:30